

【日本赤十字社への申請】

令和2年4月28日現在

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
R020001	○	中毒疹における原因疾患の早期鑑別診断法の開発	中川 幸延	大阪大学医学系研究科皮膚科	助教	②	②	白血球除去フィルター50個
R020002	○	献血血液等 検査残余血液(全血):EDTA採血を用いた品質確認試験(検査)	黒澤 竜雄	富士フイルム 和光純薬株式会社 三重工場	品質管理部長	②	②	検査残余全血495本
R020003	○	養子細胞免疫療法を目標とした抗原特異的T細胞作成法樹立の研究	赤塚 美樹	名古屋大学	特任教授	②	②	白血球除去フィルター30個
R020004		輸血・移植検査学実習	内堀 恵美	京都橋大学健康科学部臨床検査学科	専任講師	①	①	赤血球6バッグ、血漿4バッグ
R020005		大阪大学医学部保健学科輸血検査実習	永峰 啓丞	大阪大学医学部附属病院輸血部	主任臨床検査技師	①	①	血漿4バッグ
R020006	○	自己免疫介在性脳炎・脳症に関する前駆期研究201802	高橋 幸利	国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター	院長	②	②	保管年限(11年)を超えた調査用の血液12本
R020007		成分献血ドナーを対象としたiPS細胞由来の巨核球細胞ストック及び血小板産生に関する研究	江藤 浩之	京都大学iPS細胞研究所	教授	①	①	血漿60バッグ、血小板6バッグ
R020008	○	先進医療機器のための抗血栓材料の開発	田中 賢	九州大学先端物質化学研究所	教授	②	①②	全血10バッグ、検査残余全血10本
R020009	○	新規凍結乾燥技術を用いたヒト濃縮多血小板血漿のマウス子宮・卵巣投与による子宮内膜再生・及び卵巣機能に及ぼす影響とその作用機序の解明	木村 正	大阪大学大学院医学研究科産科学婦人科学講座	教授	②	①②	全血2バッグ、血小板2バッグ、検査残余全血30本
R020010		日本臨床検査技師会中四国支部輸血研修会	天野 美千子	島根県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	①	赤血球8バッグ、血漿4バッグ
R020011		(一社)愛媛県臨床検査技師会精度管理調査事業(輸血分野)	高村 好美	(一社)愛媛県臨床検査技師会	会長/臨床検査技師	①	①	赤血球3バッグ、血漿4バッグ
R020012		令和2年度愛臨技・四県合同研修会(輸血検査研究班)(仮名)	高村 好美	(一社)愛媛県臨床検査技師会	会長/臨床検査技師	①	①②	赤血球7バッグ、血漿9バッグ、セグメント90本、検査残余全血8本
R020013	○	体外診断用医薬品の開発	絹川 秀樹	アポットジャパン株式会社 総合研究所	研究プロジェクト室長	①②	②	検査残余血清3050本、検査残余血漿3050本
R020014	○	マラリア原虫におけるジャスモン酸類合成遺伝子の解明	関根 将	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科	助教	②	①	赤血球4バッグ
R020015	○	精度管理試料への献血血液製剤の応用	芳村 一	株式会社シノテスト R&Dセンター	センター長	②	①	血漿7バッグ
R020016	○	ナショナルバイオリソースプロジェクトにおけるマラリア原虫株の培養と維持管理	金子 修	長崎大学熱帯医学研究所 生物資源室	室長/教授	②	①	赤血球2バッグ、血漿3バッグ
R020017	○	急性期心原性脳塞栓症患者に対する自己骨髄単核球投与治療法の確立と細胞分離機器の開発	久保 寛嗣	日本光電工業(株) 荻野記念研究所 河田町研究室	室長	②	①	全血30バッグ
R020018	○	新しいヒト免疫不全ウイルス制御法の開発研究	布矢 純一	獨協医科大学 微生物学講座	助教	②	②	白血球除去フィルター5個
R020019	○	悪性腫瘍に対する養子免疫T細胞療法の開発研究	布矢 純一	獨協医科大学 微生物学講座	助教	②	②	白血球除去フィルター5個
R020020	○	ヒト免疫記憶細胞の製造方法の開発	徳元 康人	埼玉医科大学	講師	②	①②	全血10バッグ、白血球除去フィルター10個
R020021	○	抗マラリア活性化合物の探索と創薬研究	和田 章	国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター	専任研究員	②	①	赤血球24バッグ、血漿4バッグ
R020022	○	アレルギー病態の分子機構解明	上野 英樹	京都大学大学院医学研究科	教授	②	②	白血球除去フィルター30個
R020023	○	マイクロ流路デバイス用の前処理チップの開発	福島 雅夫	日東紡績株式会社メディカル研究開発センター	センター長	②	①	全血10バッグ
R020024	○	細菌前処理方法の自動化検討	福島 雅夫	日東紡績株式会社メディカル研究開発センター	センター長	②	①	全血3バッグ
R020025	○	体外診断用医薬品の開発	福島 雅夫	日東紡績株式会社メディカル研究開発センター	センター長	②	②	検査残余血清200本

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
R020026	○	体外診断用医薬品の開発研究	太田 紘子	旭化成ファーマ株式会社 診断薬製品部	主幹研究員	①②	②	検査残余血清2500本
R020027	○	血液分析装置用試薬開発における性能評価及び 検体間事例の抽出	伊藤 禎司	日本光電工業株式会社 検 体検査事業本部 第三技術 部	部長	②	①②	血小板5バッグ、検査残余全血500本、 検査残余血清500本、検査残余血漿500 本
R020028	○	胃癌患者のサーベイランスと介入のためのLILRA3 とHLA-Gのバイオマーカーとしての評価	水田 洋	高知大学医学部消化器内科 学	助教	②	①	全血30バッグ
R020029		臨床検査技師実習技能研修(輸血)	北沢 敏男	国立病院機構関東甲信越グ ループ	臨床検査専門職	①	①	赤血球5バッグ、血漿8バッグ
R020030		輸血検査実技研修会	坂元 あい子	一般社団法人宮崎県臨床検 査技師会	輸血部門長	①	①	赤血球5バッグ、血漿5バッグ
R020031		血小板機能低下に対し新鮮凍結血漿や血小板製 剤投与がトロンボエラストメリー(ROTEM)上の血 餅硬度や血餅安定化に及ぼす影響	小森 万希子	東京女子医科大学東医療セ ンター麻酔科	部長	①	①	血漿20バッグ、血小板20バッグ
R020032		日本臨床衛生検査技師会中部圏支部輸血実技研 修会	浅野 敦	岐阜県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球7バッグ、血漿4バッグ
R020033		臨床検査技師養成大学における臨床免疫学(輸血 療法検査)教育・手技の修得	柴田 宏	北陸大学	教授(臨床免疫学担 当)	①	①②	赤血球2バッグ、検査残余血清10本
R020034		回折X線明滅法を用いた超高感度な血小板凝集プ ロセスの観察	佐々木 裕次	東京大学 大学院新領域創 成科学研究科	教授	②	①	血小板1バッグ
R020035	○	コントロール血液・血清による日常検査の精度管理	西谷 陽子	熊本大学大学院生命科学研 究部法医学講座	教授	②	①②	全血1バッグ、検査残余血清90本
R020036		令和2年度和歌山県臨床検査技師会輸血研究班勉 強会(実技)	竹中 正人	一般社団法人 和歌山県臨 床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ

【KMバイオロジクス株式会社への申請】

令和2年4月28日現在

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
2019-4	○	シートを用いた肺痿修復における急性期の耐圧能 および組織変化の検	松谷 哲行	帝京大学医学部附属溝口病 院 外科	客員教授	①	①	ボルヒール組織接着用108mL

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの